

えんどうまめ通信



2015年5月

練馬区立中村小学校 心のふれあい相談員 遠藤 絵里

「どうしてできたの？」

新緑と木漏れ日が美しい季節になりました。ゴールデンウィークも終わり、子どもたちはそろそろ新しい環境になじんできた頃でしょうか。今年度もこの紙面を通して、時々ごいっしょに親子関係について振り返ってみたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

4月には、2年生が1年生を連れて学校探検をしていました。それぞれの教室を案内し、相談室の前では「ここは困ったことがある時に相談するお部屋だよ」と紹介もしてくれるのです。この1年でなんと立派なお兄さん、お姉さんになったことかと感動しました！

大人になると1年間もあっという間。数年前の私と比べて何が変わっているのかわからないくらいです。でも子どもたちの1年間の成長はとても大きいですね。学校に行けるようになっただけでなく、友達とやりとりできる、喧嘩しても仲直りできる、くやしい気持ちを言葉にできる、小さなことでも自分で決められる……きっと小学生の間にはできるようになることは今の私たちの何倍もあるでしょう。こんな宝物のような6年間を、私たち大人が見逃さないようにしてあげないともったいないな、と思います。

私も親として、どうしても「なんでできないの？」とイライラすることが多いのですが、実はよ～く観察していると、数カ月前（あるいは数日前）にはできなかったのにいつの間にかできるようになっていることがたくさんあります。「なんでできないの？」と言われても子どもたちにはわかりません。それよりも、できるようになっていることを見つけてあげて「〇〇できてるね！どうしてできたの？」と声をかけてみると、子どもたちは自分でも“成長している”ということに気がついて嬉しくなるかもしれません。その成功体験はきっと次の課題を乗り越えるときの知恵と力になるでしょう。

私も学校でそんな声かけをして一人一人の成長を見つけていきたいなと思っています。

相談室は保護者の皆様もどうぞお気軽にいらしてください。子育ての悩みや愚痴など何でもOKですよ。今年度も敷居を低くしてお待ちしています。

相談室直通電話 080-2010-1957 月・水・木（面談は原則9時～2時ですが、ご都合のつかない場合は予約の際にご相談ください） 金曜日は臨床心理士の中里先生が相談室にいらっしゃいます。

*Profile 遠藤絵里 大学院で児童学専攻修了。保育・教育雑誌の編集、ライターを経て、現在家族関係心理士（心理カウンセラー）。大学生の息子と高校生の娘の母親。